

令和2年度 大阪府立和泉総合高等学校 第3回 学校運営協議会 議事録

日 時 令和3年1月29日(金) 14:00 ~ 15:30
場 所 和泉総合高等学校 2F エンパワメントルーム
出席者 委 員 寺脇 会長・上條 副会長・一井 委員・原田 委員・松田 委員
(書面参加：松本 委員)
学校・事務局 加納 校長・日下部 事務部長・岡野 教頭・渡口 教頭・出立 首席
館 首席・総務主任(松尾 教諭)

議 事

1. 校長挨拶
2. 令和2年度学校経営計画および学校評価について
および令和3年度学校経営計画および学校評価 (校長)

令和2年度学校教育自己診断について (教頭)

3. 学校生活全般についての報告
 - ア) 進路状況について
 - イ) 生徒の状況について
 - ウ) ホームページ、携帯連絡網、いずそうプログラムの活用について
4. 委員からの評価・質問など
 - ア) 上條副会長より
 - ① ホームページの活用、ICT 機器を使った授業改革など良い取り組みをしている。今後も続けてほしい。
 - ② 学校教育自己診断で、項目24の教育相談に関する部分において、教職員の評価が低いのが気になった。
 - イ) 一井委員より
 - ① 今年の卒業生の人数は210名入学して、180名弱が卒業予定でありクリエイティブ時代より大幅に改善している。
 - ② 特別非常勤講師として和泉総合高校には長年かかわっているが、生徒は年々よくなっているように感じる。

ウ) 原田委員より

- ① 富秋中学校の抱える問題と共有できる部分が多く、大変参考になった。
- ② CC（キャリアコーディネーター）はどんな役割か？
 - 生徒個々の状況に合わせて生徒の進路実現の支援を行っている。また他にも SC（スクールカウンセラー）や SSW（スクールソーシャルワーカー）の先生にも協力いただいている。
- ③ 大学入試改革に伴う授業改善はどうか
 - これからの生徒は知識の習得だけでなく、対話を通して自分で考える思考力や判断力が重要になってくる。そのためには小さな成功の積み重ねが重要。

エ) 松田委員より

- ① 小学校でも支援の必要な生徒は増えている。和泉総合高校でもコグトレ等をやっていると聞いて良い取り組みと感じている。
- ② 保護者への発信は紙ベースよりもホームページや電子メールでの配信の方が良く届くが、個人情報に関しては注意が必要である。
- ③ ゆくゆくは池上小学校は富秋中学校区で幸小学校と一緒に「小中一貫義務教育学校」としてスタートするので、和泉総合高校を含めた小中高でいっそう連携ができれば良いと思っている。
- ④ 校則について、今の生徒に合った、また保護者のニーズに沿った変更は大事である。今後変えていくのに生徒の意見も聞いてはどうか。
- ⑤ 学校教育自己診断で、項目8「先生は子供の評価を公平適切に行っている」の部分が年々上がっており非常に良いと感じる。今後も先生達は自信をもって指導にあたってほしい。

オ) 寺脇会長より

- ① 今年初の試みの劇団四季は非常に良かったと思う。今後もテーブルマナー講習なども含め続けてほしい。
- ② 今年度の修学旅行は中止で残念だったが、1泊でも2泊でもいいので実施をしてほしい。
- ③ 遅刻や欠席も非常に減っているので今後も頑張ってほしい。
- ④ PDCA サイクルにそった学びを ICT 機器を使って実践してほしい。
- ⑤ SDGs の取り組みもぜひお願いしたい。